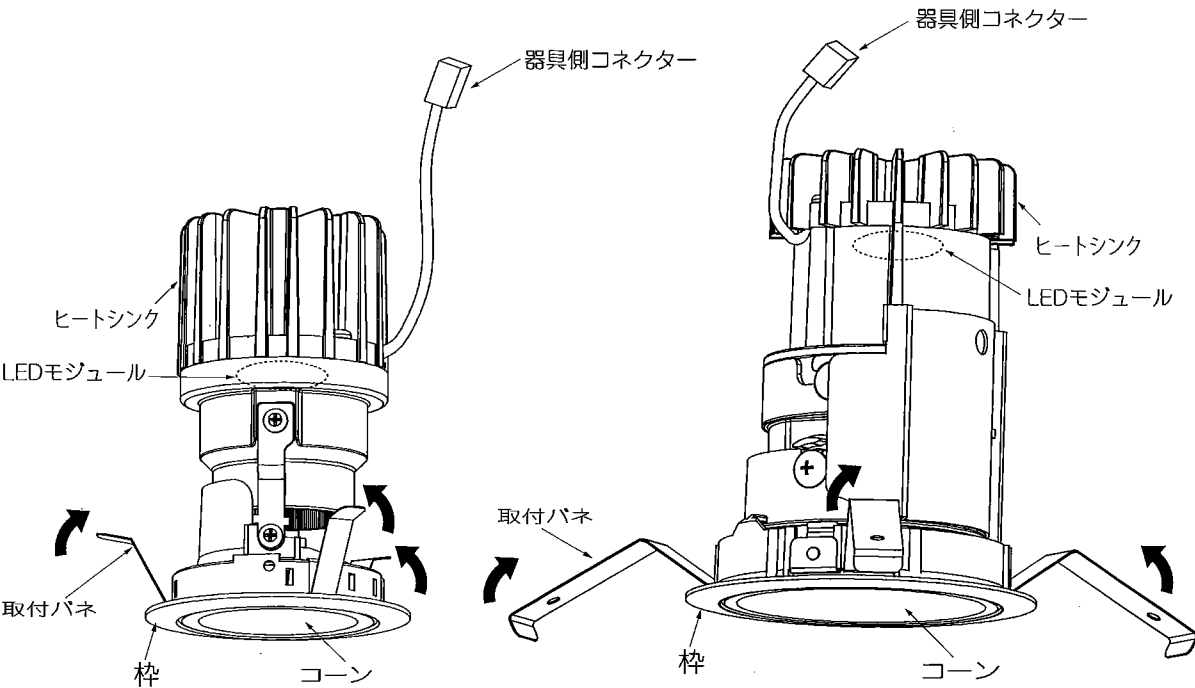
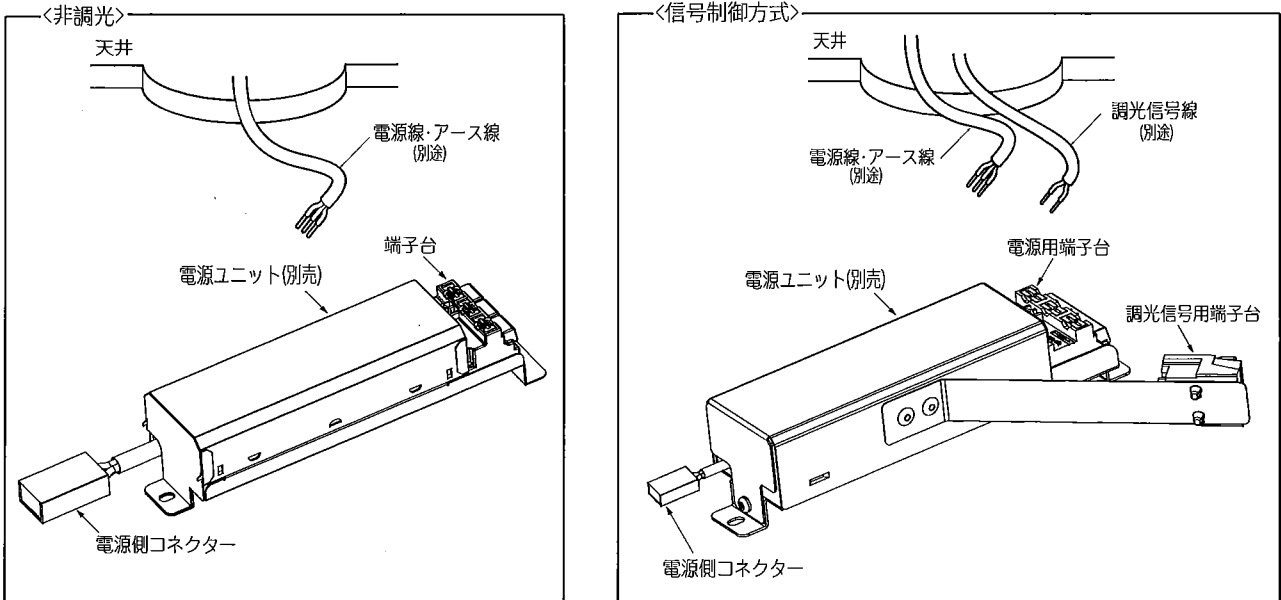


[型番] ERD5555W, ERD5556W, ERD5557W, ERD5558W, ERD5438W, ERD5439W, ERD5440W, ERD5441W, ERD5442W, ERD5443W, ERD5444W, ERD5445W, ERD5446W, ERD5555B, ERD5556B, ERD5557B, ERD5558B, ERD5441B, ERD5442B, ERD5443B, ERD5444B, ERD5445B, ERD5446B, ERD5734W, ERD5735W, ERD5736W, ERD5737W, ERD5738W, ERD5739W, ERD5734B, ERD5735B, ERD5736B, ERD5737B, ERD5738B, ERD5739B

◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



※コーンと枠は取り外しできません。

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

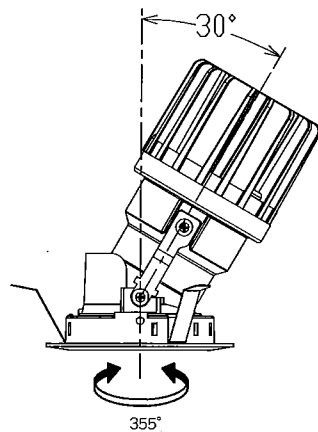
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆仕様

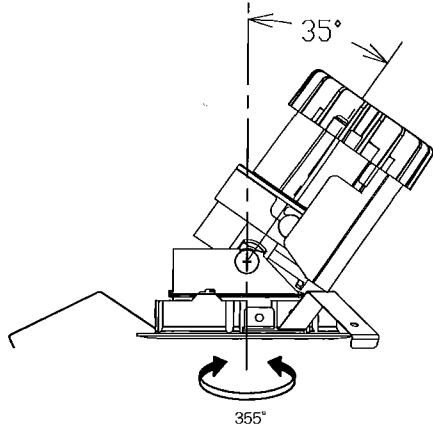
区分	型番	ランプ色	配光	近接照射限度	定格電圧	周波数	電源型番	調光方式	入力電圧	入力電流	消費電力
600 タイプ	ERD5555W/B	電球色(3000K)	中角	0.1m	AC100V	50Hz/60Hz	RX-361N	非調光	100V	155mA	8.6W
	ERD5556W/B	電球色(3000K)	広角								
	ERD5557W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	中角								
	ERD5558W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	広角								
	ERD5438W	温白色(3500K)	狭角								
	ERD5439W	温白色(3500K)	中角								
	ERD5440W	温白色(3500K)	広角								
	ERD5441W/B	電球色(3000K)	狭角								
	ERD5442W/B	電球色(3000K)	中角								
	ERD5443W/B	電球色(3000K)	広角								
	ERD5444W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	狭角								
	ERD5445W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	中角								
	ERD5446W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	広角								
	ERD5734W/B	電球色(3000K)	狭角								
	ERD5735W/B	電球色(3000K)	中角								
	ERD5736W/B	電球色(3000K)	広角								
	ERD5737W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	狭角								
	ERD5738W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	中角								
	ERD5739W/B	Hi-CRI ナチュラル(2800K)	広角								
							RX-368N	PWM調光		87mA	8.5W

※専用電源を必ず使用してください。

◆可動範囲



ERD5555W/B- ERD5558W/B



ERD5438W-ERD5446W ERD5441B-ERD5446B
ERD5734W-ERD5739W ERD5734B-ERD5739B

水平回転は灯具を鉛直0° に立ててから回転させるとスムーズに回転できます。

△ 指定範囲以外可動させないでください。破損・落下・感電の原因となります。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

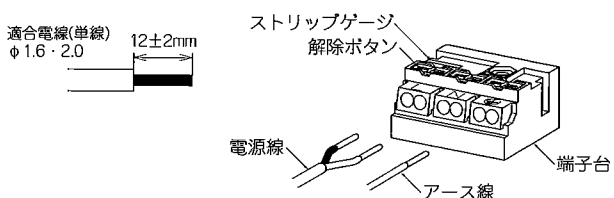
△ 感電の原因となります。

2. この器具は天井取付専用器具です。器具重量に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。(取付有効板厚3mm~21mm)
電源ユニットを埋込穴から挿入する場合は、天井内懐深さが必要です。

型番	埋込穴寸法
ERD5555W ERD5556W ERD5557W ERD5558W ERD5555B ERD5556B ERD5557B ERD5558B	φ50±1
ERD5438W ERD5439W ERD5440W ERD5441W ERD5442W ERD5443W ERD5444W ERD5445W ERD5446W ERD5441B ERD5442B ERD5443B ERD5444B ERD5445B ERD5446B ERD5734W ERD5735W ERD5736W ERD5737W ERD5738W ERD5739W ERD5734B ERD5735B ERD5736B ERD5737B ERD5738B ERD5739B	φ75±1

△ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

3. 電源線を端子台に接続してください。
●電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
●電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
●送り容量15A以下。
●D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。

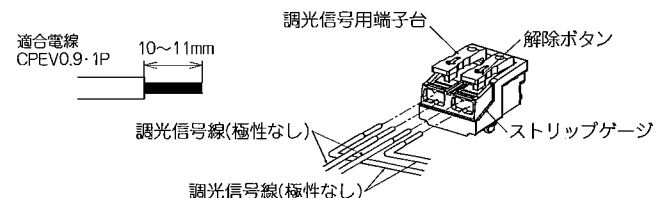


△ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。
接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

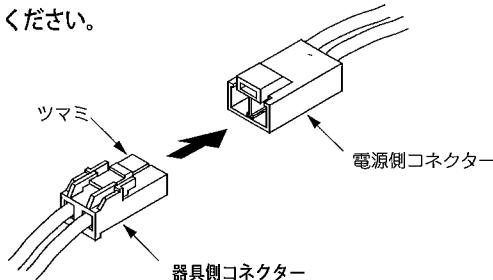
- 3-1 信号制御方式の場合、調光信号線を電源ユニットの調光信号用端子台に接続してください。
●調光信号線はストリップゲージ長10~11mmにむいてください。
●解除ボタンを押したまま、調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。解除ボタンを元の位置に戻し、調光信号線が抜けないことを確認してください。
●使用する信号制御器の最大接続数以下で接続してください。



- 信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
- 信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

4. 器具側コネクタに電源側コネクタを確実に差し込み接続してください。



△ 接続不完全な場合、火災・漏電の原因となります。

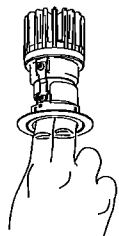
5. 電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などしないように設置してください。

△ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因になります。

6. 本体を埋込穴に押し込んでください。
●取付パネを矢印方向へ締め、本体を埋込穴へ押し込んでください。(各部の名称図参照)

△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

※ φ50ユニバーサル動作において、開口面から指を2本入れて作業するとスムーズに回すことができます。



◆オプション(別売)

オプション型番	名称
RB-575C	ディフュージョンレンズ
RB-579C	スプレッドレンズ
RB-583B	ハニカムルーバ
RB-588B	フレアカットルーバ

※ 埋込穴φ75のみ適用

※ 全てのオプションは併用不可です。

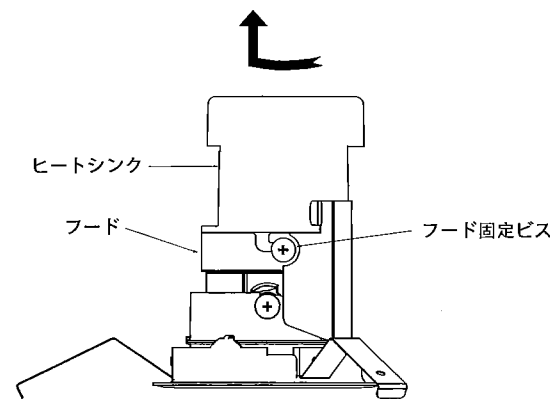
※ フレアカットルーバは狭角専用です。

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

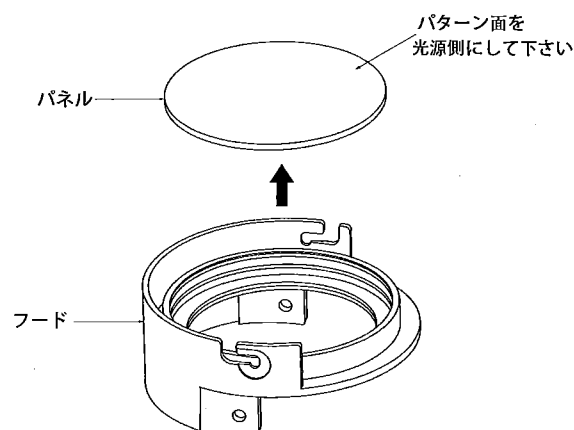
△ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は灯体が高温になりますので、オプションの取り付けはしないでください。やけどの原因となります。

2. フード固定ビスを緩めて、ヒートシンクを矢印の方向に回してフードを外してください。



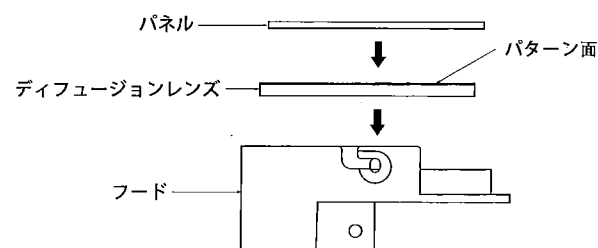
△ 光源(LED)に直接触れないでください。故障の原因となります。

3. フードからパネルを取り出してください。

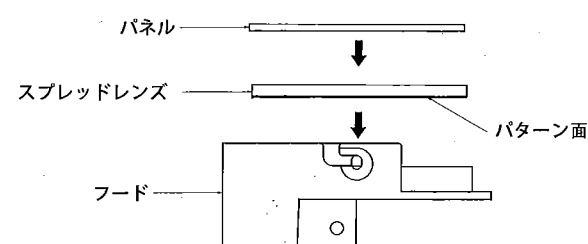


4. オプションを取付けてください。

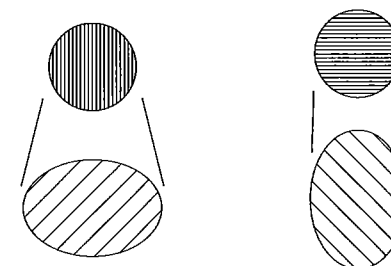
- ディフュージョンレンズ(RB-575C)の取付方法



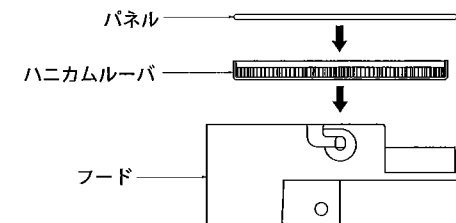
- スプレッドレンズ(RB-579C)の取付方法



スプレッドレンズの筋と垂直方向に光が伸びます。取付方向にご注意下さい。

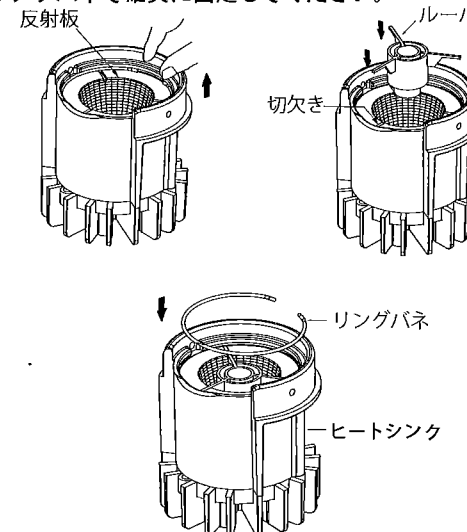


- ハニカムルーバ(RB-583B)の取付方法

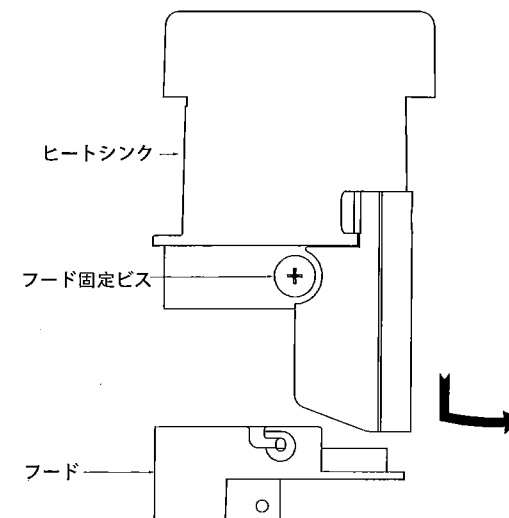


- フレアカットルーバ(RB-588B)の取付方法

ヒートシンクからリングバネの先端を指で摘んでバネを外してください。フレアカットルーバ(別売)先端を反射板の切り欠き(3箇所)に合わせて嵌めてください。リングバネで確実に固定してください。



5. ヒートシンクをフードに取付けて矢印の方向に回してください。フード固定ビスを締めてください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。